特 定 非 営 利 活 動 法 人

あ げ お 学 童 ク ラ ブ の 会

第17回 通常総会

議案書

日　時：２０２３年 5月２８日（日）１３：３０～

会　場：上尾市文化センター　小ホール

【 議 事 】

第１号議案　２０２２年度事業報告及び決算承認の件

第２号議案　２０２３年度役員報酬（案）

第３号議案　２０２３年度事業計画（案）

第４号議案　役員選任（案）

第１号議案

２０２２年度事業報告および決算承認

ＮＰＯ法人あげお学童クラブの会は、「保育事業」「保護者との協働運営」「法人組織運営」の３要素を事業の中核としています。この３要素ごとに、恒常的な目標（中長期の目標）、短期的目標（単年度で取り組む目標）を設定し、事業を遂行してきました。下記の表の「短期的目標結果」の「○」や「△」「×」は、１年間の事業結果に対し、理事会で自己評価を行ったものです。

活動(3要素)	中長期的な目標	短期的（年度）目標	短期的目標結果	評価
保育事業	子どもの人権を守るセーフティーネットとしての学童になる	各機関との更なる連携/全職員に向けた研修の実施	職員に向け虐待防止研修を実施した。また、行政機関はじめ子どもに関係する機関と情報共有等に取り組み、連携の機能強化を行なった。	○
	学童の大規模化の解消、小学校敷地外学童保育所の敷地内移転	市民のニーズを確認しながら、学童の大規模化解消に向け事業内容を検討/小学校内敷地内移転に向けて環境整備	平方学童保育所の平方東小学校多目的室を利用した分散保育実施継続。平方西学童保育所移転計画に向けての協議。	○
	職員欠員の解消	欠員解消に向け、求人方法を検討/早期離職者減少に向け、相談窓口を設置	公的機関と企業の求人広告を活用して費用を抑えつつ効果的な募集を行った。採用時の選考をより良くするため現場実習結果を細かく確認していった結果、欠員が補充できた。	○
	職員資質向上	研修体系を確立する/評価制度の導入	今年度から研修室を設けたことにより、その時々の現場の実情を分析し、それに合った研修の計画、実施、振り返りまでの流れの体系構築を進めることができた。それにより、現場と改善に向かう方向性の確認を行うことができた。 評価制度を導入したことで、各自が仕事の振り返りを行うことができ、上司も担当する職員の考え方や課題を把握し、次につなげることができた。	○

	特別支援児保育の充実	定期的な研修、交流学習会の実施	職員に全体研修を実施した。支援児担当職員については、学習会を定期的に行なってきた。その中では事例の検討などを通して具体的な実践につなげられるよう取り組んだ。	○
保護者との協働運営	保護者会のあり方を根本から検討	各学童の保護者組織をめぐる具体的な問題点への個別、具体的な対応	保護者会会長と職員へのアンケートを行い、保護者組織見直し状況の進捗確認を行った。 各保護者会の進捗状況に合わせた意見交換の場を提供し、各課題への方向性や手順、選択肢の例示等にて協力したがコロナ禍の影響で十分とは言えなかった。	△
	子育ての場の気持ちを共有し学童保育事業への理解の拡大	特別支援児の保護者を対象とした子育て交流会実施の検討/保護者参加の子育てに関する講演実施の検討	特別支援児の保護者を対象とした子育て交流会を 2023 年 1 月に開催できた。もっと話したかった、また話をしたいなど好意的な反応だった。	○
	参加創造型イベントによる学童のアピール	子どもまつりの 2022 年度開催は中止。次年度開催に向け、理事から実行委員を選出。感染対策を講じたイベント実施の可能性について検討。	今年度は 2023 年度の開催に向けて計 3 回の実行委員会を開催した。2023 年 11 月の開催に向けて会場の選考や実施内容について検討し、概ね内容を固められた。	○
法人組織運営	業務の質的水準の平準化	育成支援事務実務の IT 化の促進	各学童にＰＣを設置して職員が事務実務作業を実施できた。また、ＩＣカードで勤怠管理を行えるようにした。	○
	安全管理体制の再点検	児童の安全マニュアルの改訂（前年度より継続）	ハラスメント対応等のマニュアルを整備した。	○
	安定した法人運営/財政基盤の強化	市民のニーズに沿った新規事業の検討/給与体系の見直し	引き続き『待機児童 0』の方針を掲げ、入所要件に合致している児童全員入所を実現した。/補助金のメニューと仕組み、支給と返還の要件等を複数人で再調査し、職員の配置や採用で補助金減額を最小限に留めた。	△
	事業規模拡大に伴う法人組織の再検討	組織の内部構成の確認、適切な統治モデルの選定	変化の速度や専門性を必要とする審議に対応できる組織を検討中。	△

＜表より重点事項＞

１）保育事業

◇大規模学童保育所の解消、小学校敷地外学童保育所の敷地内移転

2022 年度も引き続き重点課題として上尾市、市議会、保護者の皆様の多大なるご理解とご協力を得て各大規模学童の解消に向けて取り組みを進めてまいりました。具体的に対策が進んだ学童として、平方学童保育所は平方東小学校の多目的室をお借りできたことで継続的な分散保育を実施できました。東小・東小第二学童保育所では夏休みの期間中に東小学校の体育館をお借りして分散保育を実施することができました。また、今年度では具体的な動きとはなりませんでしたが、平方西学童保育所の平方小学校敷地内移転について、少しでも早い時期に実現できるよう関係各所と計画を進めております。2023 年度も引き続き西小なかよし児童クラブ、今泉小学童保育所、中央小学童保育所等、大規模となっている学童保育所の分散保育や分割に向けて取り組んでまいります。

◇職員資質向上

今年度から設置した研修室が現場の状況把握を行い、実情に合わせた研修計画の策定を行いました。各研修では実施後の振り返りまでを流れに組み込むことで個々の学びとともに現場と改善の方向性を確認することができました。

加えて、今年度導入した評価制度は職員が各自の仕事を振り返る機会となりました。その振り返った内容を職員間で共有することによりお互いの考え方や課題意識を把握でき、チーム作りに繋げていけるようになりました。

２）保護者との協働運営

◇保護者会のあり方を根本から検討

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により各保護者会でそのあり方を議論や検討することが難しい状態であったため現状把握を目的にＮＰＯ法人として保護者会会長と職員へ保護者組織見直し状況の進捗確認をアンケート方式で行いました。その後、ＮＰＯ法人から各保護者会の進捗状況に合わせた意見交換の場を提供し、各課題への方向性や手順、選択肢の例示等にて協力しましたが、コロナ禍の影響で十分とは言えない状況です。2023 年度も保護者会が存続する学童については引き続き法人として支援をしてまいります。

◇子育て交流会・子どもまつり

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催は中止としましたが、来年度の開催に向けて実行委員会を発足させました。実行委員は職員と保護者理事と相談役で運営し、過去の開催内容を振り返るとともに候補会場の選定を行いました。開催は 2023 年 11 月 3 日を予定しておりますので、準備が整いましたら順次案内をしてまいります。

３）法人組織運営

◇業務の質的水準の平準化

各学童の事務実務をより円滑に進められるようにＰＣを設置して作業できる環境を整えました。勤怠管理も紙のタイムカードからＩＣカードを利用した非接触型の勤怠管理シス

テムを導入したことでＩＣＴ化を進めました。

◇安定した法人運営/財政基盤の強化

財政面をより安定させるため補助金のメニューと仕組み、支給と返還の要件等を複数人で確認していきながら予算により近い補助金が受給でき、最小限の返還となる職員配置を行いました。

市民のニーズである『待機児童 0』を継続している結果、大規模学童の解消ができていない問題については、行政担当課とともに今後も協議を続けていく予定です。

◇組織の内部構成の確認、適切な統治モデルの選定

社会情勢や各種法令の変化や専門性を必要とする審議に対応できる組織への転換を検討しております。ＮＰＯ法人の各種規定類等を確認しながら迅速な判断や審議を可能とする組織作りを目指しつつ、ＮＰＯ法人の中長期的な運営をじっくり検討できる会議体も継続して持ち続けるため更なる検討を進めてまいります。

2022年度　特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

２０２２年４月１日から２０２３年３月３１日まで

特定非営利活動法人　あげお学童クラブの会（第1号議案）

（単位：円）

科　　目	金額		備考
Ⅰ　経常収益			
１　会費・入会金収入			
１）正会員会費	53,000		
賛助会員会費	20,000	73,000	
２　事業収入			
(1)社会福祉法第２条の第２種社会福祉事業（放課後児童健全育成事業）としての、上尾市内の学童保育所の開設・運営事業収益			
１）保育料収入	332,377,350		
２）入所金収入	10,349,000		
３）法人運営費	22,378,000		
４）時間外等雑収入	932,100	366,036,450	
３　補助金等収入			
１）事業委託料収入	484,306,310		
２）市補助金（事業費補助金）	44,146,000	528,452,310	
４　寄附金収入	0	0	
５　その他収入			
退職給料引当金戻入			
雑収入	11,818,237	11,818,237	
経常収益計			906,379,997
Ⅱ　経常費用			
(1) 社会福祉法第２条の第２種社会福祉事業（放課後児童健全育成事業）としての、上尾市内の学童保育所の開設・運営事業			
１）人件費	709,498,976		
２）保育費	60,352,562		
３）学童保育事業運営費	94,753,191		
４）退職金	2,648,767	867,253,496	
(2) 子育て支援に関する講演会、講座及びイベントなどの企画運営事業	0	0	
(3) 子育て支援に関する書籍、雑誌等の販売事業	0	0	
(4) その他、児童の育成支援に関わる事業	0	0	
２　管理費			
１）人件費			
役員報酬	10,912,334		
職員給与、他	29,409,190		
２）管理運営費	24,885,527	65,207,051	
３　予備費			
予備費	0	0	
４　基金積立金			
退職給料引当金繰入		0	
経常費用計			932,460,547
Ⅲ　経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
Ⅳ　経常外費用			
１）雑損失	1,046,800		
経常外費用計		1,046,800	1,046,800
当期正味財産増減額			−27,127,350
前期繰越正味財産額			52,886,145
次期繰越正味財産額			25,758,795

2022年度　特定非営利活動に係る事業会計財産目録

２０２３年３月３１日現在

特定非営利活動法人　あげお学童クラブの会（第1号議案）

（単位：円）

科　　目	数　量	金　　額		
Ⅰ　資産の部				
1　流動資産				
現金　現金手元預かり高		929,377		
小口現金		0		
普通預金　埼玉りそな銀行上尾西口支店		45,208,305		
普通預金　埼玉りそな銀行上尾西口支店（施設費）		5,582,499		
ゆうちょ銀行　振替口座		567,677		
ゆうちょ銀行　総合口座		4,227,060		
楽天銀行		2,063,656		
未収保育料・立替え金等	46クラブ分	7,130,600		
流動資産合計			65,709,174	
2　固定資産				
建物		58,404,350		
車両運搬具		2		
什器備品		7,146,000		
敷金		3,836,670		
保証金（民設民営学童保証金）		4,036,000		
出資金		5,000		
固定資産合計			73,428,022	
資産合計　(A)				139,137,196
Ⅱ　負債の部				
1　流動負債				
預り金		12,108,053		
仮受金		38,927,385		
短期借入金		59,330,000		
流動負債合計			110,365,438	
2　固定負債				
退職給料引当金		3,012,963		
固定負債合計			3,012,963	
負債合計　(B)				113,378,401
正味財産　(C)				25,758,795

2022年度　特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

２０２３年３月３１日現在

特定非営利活動法人　あげお学童クラブの会（第1号議案）

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金及び預金	58,578,574		
未収入金	594,900		
立替・仮払い金	6,535,700		
流動資産合計		65,709,174	
2　固定資産			
建物	58,404,350		
車両運搬具	2		
什器備品	7,146,000		
敷金	3,836,670		
保証金	4,036,000		
出資金	5,000		
固定資産合計		73,428,022	
資産合計			139,137,196
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
預り金	12,108,053		
仮受金	38,927,385		
短期借入金	59,330,000		
流動負債合計		110,365,438	
2　固定負債			
退職給料引当金	3,012,963		
固定負債合計		3,012,963	
負債合計			113,378,401
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		52,886,145	
当期正味財産増減額		−27,127,350	
正味財産合計			25,758,795

2022年度　キャッシュ･フロー計算書

２０２２年4月１日から２０２３年3月３１日まで

特定非営利活動法人　あげお学童クラブの会（第1号議案参考資料）

（単位：円）

科　　目	金　額
Ⅰ　事業活動によるキャッシュ・フロー	
（1）当期正味財産（＋）	-27,127,350
（2）非資金の費用項目	
１．減価償却費（＋）	5,352,898
２．諸引当金の増加（＋）・減少（－）額	0
（3）回収・支払サイト	
１．受取手形の増加（－）・減少（＋）額	0
２．売掛金の増加（－）・減少（＋）額	0
３．その他の流動資産の増加（－）・減少（＋）額	2,041,079
４．支払手形の増加（＋）・減少（－）額	0
５．買掛金の増加（＋）・減少（－）額	0
６．前受金の増加（＋）・減少（－）額	0
７．その他の流動負債の増加（＋）・減少（－）額	0
８．その他の固定負債の増加（＋）・減少（－）額	0
（Ⅰの計）	-19,733,373
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー	
１．有価証券の購入（－）・売却（＋）額	0
２．短期貸付金の貸付（－）・回収（＋）額	0
３．土地の購入（－）・売却（＋）額	0
４．減価償却資産の増加（－）・減少（＋）額	0
５．無形固定資産の増加（－）・減少（＋）額	-1,152,130
６．投資有価証券の購入（－）・売却（＋）額	0
７．長期貸付金の貸付（－）・回収（＋）額	0
８．その他の固定負債の増加（－）・減少（＋）額	0
９．繰延資産の増加（－）・減少（＋）額	0
（Ⅱの計）	-1,152,130
フリーキャッシュ・フロー（Ⅰ＋Ⅱ）	-20,885,503
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー	
１．短期借入金の増加（＋）・減少（－）額	59,330,000
２．長期借入金の増加（＋）・減少（－）額	0
３．剰余金の配当の支払（－）額	0
（Ⅲの計）	59,330,000
Ⅳ　キャッシュの増加・減少額（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ）	38,444,497
Ⅴ　キャッシュの期首残高	20,134,077
Ⅵ　キャッシュの期末残高（Ⅳ＋Ⅴ）	58,578,574

財務諸表の注記

特定非営利活動法人　あげお学童クラブの会

１．重要な会計方針

財務諸表の作成は、ＮＰＯ法人会計基準（2010 年 7 月 20 日、2011 年 11 月 20 日一部改正　ＮＰＯ法人会計基準協議会）によっています。

２．減価償却について

定額法で行っています。

３．内訳（2022 年度事業会計活動計算書を参照のこと）

（１）事業人件費は 2022 年度予算が 655,950 千円のところ決算では 709,498 千円となっています。保育の質を向上させるため、非常勤職員数を増やしました。非常勤職員人件費は予算 145,000 千円のところ 177,617 千円となり前期比 126%。また、支援児担当も必要に応じて大幅に増員したことにより予算 67,000 千円のところ 78,244 千円となり前期比 115.5%となり金額が膨らみました。

（２）事業運営費には保育中にけがをした児童のタクシー料金や、消耗品費として 46 クラブで使うパソコン周辺機器購入費用や出退勤管理システム導入による機器購入費が含まれています。

（３）管理人件費は 2022 年度予算が 58,600 千円のところ決算では 40,321 千円となりました。管理運営費では給与及び会計ソフトのライセンス更新料が含まれています。

（４）雑損失 1,046,800 円の主な内訳は、2021 年度以前に発生した未納保護者負担金の雑損処理分（4 クラブ 5 名）396,800 円と障害者雇用納付金 600,000 円です。尚、未納保護者負担金の雑損処理分は会計上のことであり引き続き支払い請求は続けます。

（５）雑収入 11,818,237 円は、退職金制度の変更に伴い企業型確定拠出年金に年齢条件で移行できなかった 6 名の退職金準備金を運用の為に前理事長名義で保険に加入していたものが、前理事長の退職により解約したために発生した払戻金が含まれています。

４．固定資産の増減内訳

2022 年度に新たに取得した固定資産は東町小学童の物置 217,900 円、大石学童 A のエアコン 234,300 円、原市南学童のエアコン 699,930 円です。

車両運搬具は法人所有の軽乗用車（2 台）です。

科目	期首帳簿価格	当期取得額	当期償却額	期末帳簿価格	減価償却累計額
建物	62,520,129	217,900	4,333,679	58,404,350	15,047,731
車両運搬具	2	—	0	2	2,009,998
什器備品	7,230,989	934,230	1,019,219	7,146,000	3,332,305
合計	69,751,120	1,152,130	5,352,898	65,550,352	20,390,034

参考

科目	取得価格
建物	73,452,081
車両運搬具	2,010,000
什器備品	10,478,305
合計	85,940,386

監　査　報　告　書

私たち監事は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、2022 年度（2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで）の特定非営利活動法人あげお学童クラブの会の業務及び財産の状況について監査を実施いたしました。

1　監査の方法及びその内容

監事会は、監査の方針等を定め、各監事から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監事は、他の監事と情報交換を図り、監査計画に従い、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当法人事務局及び学童保育所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る事業報告書、計算書類（活動計算書、貸借対照表）及び財産目録について検討いたしました。

2　監査の結果

（1）業務執行の状況について

当法人の業務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）財産の状況について

事業報告書、計算書類（活動計算書、貸借対照表）及び財産目録は、法令及び定款に従い、当法人の状況を適正に表示しているものと認めます。

２０２３年４月２８日

特定非営利活動法人あげお学童クラブの会

監事　茂木　希

監事　鴛海雅弘

監事　嶋根　琢磨

第２号議案

２０２３年度役員報酬（案）

１．役員の報酬

【提案の主旨】役員報酬の決定に際して、定款第 18 条 3 項の規定に基づき役員の報酬額を以下のとおり決定したい。また、報酬額は役員規定第 17 条および第 18 条で定める範囲とする。

役員報酬額合計　　11,000,000 円

・代表理事　年額報酬　　6,760,000 円（月額報酬は年額の１２分の１）

・専務理事　年額報酬　　4,000,000 円（月額報酬は年額の１２分の１）

・監事　　年額報酬　　240,000 円（月額報酬は年額の１２分の１）

※参考資料

＜役員規定に定める報酬額一覧＞

役職名	勤務形態	月額報酬	年額報酬
理事長	常勤	８０万円を上限	９６０万円を上限
副理事長、専務理事	常勤	６０万円を上限	７２０万円を上限
理事（有識者）	非常勤	５万円	６０万円
監事（有識者）	非常勤	５万円	６０万円

（注）月額報酬は、年額報酬の１２分の１とする。

第３号議案

２０２３年度事業計画（案）

2023 年度は上尾市内で 47 単位の学童保育所を一括運営します。保護者と職員の協働によるＮＰＯ法人として、学童保育所の運営に際し子どもの最善の利益を最優先にして事業を計画します。徐々に新型コロナウイルスの影響が小さくなり社会活動が戻りつつある中で、学童における子ども達の生活をより豊かにしていくことや保護者との協働の場や時間を作る活動を推進していきます。

あげお学童クラブの会の３要素

保育事業	保護者との協働運営	法人組織運営
学童保育を必要とするすべての子どもが学童保育に通えること、豊かな放課後を過ごせるようにすることの基盤を整えること	保護者と職員が子どもたちの豊かな放課後の時間を過ごせるようにするために、各々の学童保育所をともに運営していくこと	長期的に安定し持続的に発展可能な組織運営を実現することで子どもたちによりよい学童保育を提供していくこと

活動（3 要素）	中長期的な目標	短期的（年度）目標
保育事業	子どもの人権を守るセーフティーネットとしての学童になる	各機関との更なる連携/全職員に向けた研修の実施
	学童の大規模化の解消、小学校敷地外学童保育所の敷地内移転	大規模化学童の解消に向けて上尾市、法人、保護者が情報を共有しながら可能な手段や対策を検討
	効果的な職員採用を常に模索してより良い人材を確保する	公的機関と有料媒体の活用で費用対効果を最大化しつつ必要な時にはしっかりと費用をかけて人材を確保する。埼玉県が支援を拡充している学童保育所の学生ボランティア受け入れに対する補助を積極的に活用して、更なる人材の確保に繋げる
	職員資質向上	確立した研修体系の向上/導入した評価制度の改善
	特別支援児保育の充実	定期的な研修、交流学習会の実施

保護者との協働運営	保護者組織のあり方を見直す機会を法人として提供する	各学童の保護者組織の要望に応じて、情報を共有・交換できる機会を法人として提供
	子育ての場の気持ちを共有し学童保育事業への理解の拡大	学童ごとの保護者懇談会の実施/保護者を対象とした子育て交流会実施の検討
	参加創造型イベントによる学童のアピール	有志の実行委員会による、こどもまつり開催
法人組織運営	業務の質的水準の平準化	育成支援事務実務の IT 化の促進/事務実務担当者を数か所の学童に 1 名程度配置できるよう検討
	安全管理体制の再点検	児童の安全マニュアルの改訂（前年度より継続）2023 年度から安全管理委員会とする
	安定した法人運営/財政基盤の強化	埼玉県放課後児童クラブガイドライン遵守を目指すため、上尾市との協議の継続/事前の情報収集、対策により補助金の返還を最小化する運営を目指す/諸経費と給与体系等人件費の見直し
	事業規模拡大に伴う法人組織の再検討	各種規定を現状に沿った規定へ改廃/理事会等の各会議における役割を検討

＜表より重点事項＞

１）保育事業

2023 年 4 月 1 日現在、あげお学童クラブの会の学童保育所には 2,442 名の児童が在籍しています。学童保育所に通う全ての児童が安心して利用できる学童クラブであるために、2023 年度も引き続き様々な支援を必要とする子ども達の成長を支えていくための保育を行ってまいります。

70 名以上の超大規模学童（東小学童保育所、西小なかよし児童クラブ、平方学童保育所、大石北小第二学童保育所、今泉小学童保育所 A・B、中央小学童保育所 A・B、大石学童保育所 A・B、等）については、上尾市と常に情報を共有しながら大規模解消に向けて取り組んでまいります。また、大規模学童間で職員の意見交流を積極的に設け、健全な子どもの育ちを守るためにどうしたらよいかを協議し、ソフト面でも問題解決に努めていきます。

人材の確保としては組織を支える職員の育成と欠員補充に対する効果的な採用を行ってまいります。育成面では研修室が主導して職員が社会人としての資質を向上させられる研修実施とＮＰＯ法人が掲げる育成支援の指針と運営方針を実現するために必要なスキルを身に着ける研修を充実させていきます。採用面では、補助金がより多く受給できる配置を実現するための採用活動に加えて、埼玉県が支援策として行っている学生ボラ

ンティアの受け入れに対する支援策を活用して採用の間口を広げていきます。また、現在補助員として勤務している学生向けの入社説明会開催も検討することで人材確保の可能性を高めてまいります。

２）保護者との協働運営

上尾市の学童保育は 1970 年代、保護者による個々の学童保育所運営から始まりました。2006 年に設立したＮＰＯ法人はそれまでの長年にわたる保護者と職員の協働運営を基礎としています。学童保育所においては、子どもの育ちを考えるのは保護者（会）であり職員たちです。2020 年度から続いた新型コロナウイルス感染拡大が終息の様子を見せてきた中で、保護者会によるイベントの再開や新たな活動が始まっていくことと思いますが、その主体となる保護者（会）が「共同保育」の理念を理解しつつ実践してもらえて各学童で保護者と職員が一緒になって子ども達の育ちを考えていける関係性が続くようにＮＰＯ法人として機会を用意していくとともに職員からも働きかけてまいります。また、昨年に引き続き各学童の保護者会で、保護者同士のつながりや保護者と職員とでの子どもの様子の伝えあいなど大事にしたいところを整理しながら、今後の保護者会のあり方を議論していただければと考えます。各保護者会での議論を進める参考になるよう、今年度も保護者同士の交流の機会を設ける予定です。

３）法人組織運営

ＮＰＯ法人の安定した運営を目的に、引き続き公的支援の充実を上尾市に求めていくとともに支出面の見直しも行ってまいります。また、年度内での欠員による補助金減額を防ぐためにも、職員が長く働き続けられるような研修の実施や組織的なサポートをこれからも継続しつつ、振り返りによる改善を続けます。

事業規模が年々拡大していることから、業務執行や関連法令の変更対応に迅速性と正確性が求められております。それに応えていくためにはどのような組織構成であるべきなのかを検討していきます。

現在の大石公民館放課後子供教室への職員派遣を 2023 年度も引き続き行っていきます。また、今後の放課後子供教室の運営方法について、上尾市から要請があれば協力に向けて協議していきます。

2023年度　特定非営利活動に係る事業会計活動予算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人　あげお学童クラブの会（第3号議案参考資料）

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　経常収益			
1　会費・入会金収入			
正会員会費	50,000		
賛助会員会費	10,000	60,000	
2　事業収入			
(1) 学童保育事業費			
1) 保育料収入	367,000,000		
2) 入所金収入	10,450,000		
3) 法人運営費収入	24,000,000		
4) 時間外利用料	900,000	402,350,000	
(2) 子育て支援企画事業収入	50,000	50,000	
(3) 子育て支援販売事業収入	0	0	
(4) その他事業収入	0	0	
1) 事業委託料収入	480,000,000		
2) 事業補助金収入	58,000,000	538,000,000	
4　寄附金収入	0	0	
5　その他収入			
退職給料引当金戻入	3,012,963		
雑収入	527,037	3,540,000	
経常収益計			944,000,000
Ⅱ　経常費用			
1　事業費			
(1) 学童保育事業費			
1) 人件費	723,000,000		
2) 保育費	66,200,000		
3) 学童保育事業運営費	100,000,000	889,200,000	
(2) 子育て支援企画事業費	500,000	500,000	
(3) 子育て支援販売事業費	0	0	
(4) その他事業費	0	0	
2　管理費			
1) 人件費			
役員報酬	11,000,000		
職員給与、他	41,800,000		
2) 管理運営費	28,487,037	81,287,037	
3　基金積立金			
退職給料引当金繰入	3,012,963	3,012,963	
経常費用計			974,000,000
Ⅲ　経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ　経常外費用			
1）雑損失	0	0	
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			−30,000,000
前期正味財産増減額			25,758,795
次期繰越正味財産増減額			−4,241,205

第４号議案	役員選任（案）

１．役員の選任

【提案の主旨】理事 11 名の任期満了、理事２名の辞任、監事２名の任期満了に伴い、定款第 16 条の規定に基づき役員の補充を行い、新たに理事８名・監事２名を選任します。

【選任する役員】

役名	氏名	所属（5 月 1 日時点）	区分	期間
理事	菊地　直美	エリアマネジャー	再任	2021 年～
理事	池田　暁希	エリアマネジャー	再任	2021 年～
理事	中富　英二	東町学童保育所ＯＢ	再任	2006 年～09 年･15 年～
理事	鈴木　孝徳	エグゼクティブマネジャー	再任	2007・13・15 年～
理事	佐藤　智香子	総務部長・事務局（芝川学童保育所ＯＧ）	再任	2017 年～
理事	小原　京子	副会長・東小学童保育所保護者	再任	2019 年～
理事	齋藤　雅也	原市第三学童保育所ＯＢ	再任	2019 年～
理事	齋藤　みどり	エリアマネジャー	再任	2019 年～
監事	茂木　希	鴨川小第二学童保育所ＯＧ	再任	2017 年～20 年（理事） 2021 年～
監事	嶋根　琢磨	司法書士	再任	2019 年～

【継続する役員】

役名	氏名	所属（5 月 1 日時点）	区分	期間
理事	千葉　拓也	原市第三学童保育所保護者	継続	2022 年～
理事	豊田　健介	理事長・瓦葺小学童保育所Ｂ保護者	継続	2015 年～18 年（理事）、 19 年～21 年（監事） 22 年～（理事）
理事	須藤　三保	エリアマネジャー	継続	2022 年～
理事	岩﨑　歌子	エリアマネジャー	継続	2022 年～
監事	鴛海　雅弘	大石学童保育所Ａ　ＯＢ	継続	2014 年～21 年（理事）
理事	松本　絵梨香	エリアマネジャー	継続	2020 年～
理事	照岡　賢広	大谷第二学童保育所ＯＢ	継続	2008 年～
理事	田畠　千春	チーフマネジャー	継続	2009 年～12 年、18 年～
理事	桑原　明子	事務局長・大石北小第二学童保育所保護者	継続	2014 年～15 年、18 年～
理事	長谷川　義水	副理事長・育成支援部長	継続	2014 年～
理事	河内　靖成	エリアマネジャー	継続	2016 年～
理事	木下　宏美	東町学童保育所ＯＧ	継続	2018 年～